

秋の日の午後 ドイツリート の調べによせて



三輪 陽子 メゾソプラノ
YOKO MIWA



能勢 健司 バリトン
KENJI NOSE



鈴木 佳代子 ピアノ
KAYOKO SUZUKI

- *シューマン リーダークライス Op.24
- *シューマン 女の愛と生涯 Op.42
- *シューベルト=リスト アヴェ・マリア 他

全席自由

2019年9月22日(日) ●14:00開演
●13:30開場

穂の国とよはし芸術劇場プラットアートスペース

チケット 前売 一般 2,000円 (当日 2,500円)
中学生以下 1,000円

■主催：an die ムジーク

■チケット取扱い：プラットチケットセンター

■後援：豊橋市 豊橋市教育委員会 (公財)豊橋文化振興財団 東海日日新聞社

PROFILE



三輪 陽子 **メゾソプラノ**
YOKO MIWA

愛知県立芸術大学卒業。同大学院修了。第5回国際ワーグナー歌唱コンクール派遣対象者国内オーディション最優秀賞と特別賞を受賞。2008年文化庁新進芸術家海外研修制度にてイタリア及びオーストリアに留学。これまでに新国立劇場『ワルキューレ』シュヴェルトライテ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』ルチア、『西部の娘』ウォークル、同鑑賞教室『蝶々夫人』スズキ、『影のない女』、池辺晋一郎作曲『鹿鳴館』坂崎男爵夫人定子、三木稔作曲『愛怨』影巳（世界初演）、神奈川県民ホール／びわ湖ホール『ワルキューレ』シュヴェルトライテの他、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『結婚手形』クラリーナ、『ジャンニスキッキ』ツィータ、『修道女アンジェリカ』公爵夫人、『リゴレット』ジョヴァンナ等全国各地の劇場で数多くの役を演じ、いずれも好評を博している。またコンサートにおいては、東京アカデミー合唱団「メサイア」（秋山和慶指揮）の他、バッハ「ヨハネ受難曲」、「ロ短調ミサ」、モーツァルト、ヴェルディ「レクイエム」、ドヴォルザーク「スタバト・マーテル」等の宗教曲や、「第九」、「大地の歌」等のソリストとしても活躍している。二期会会員



能勢 健司 **バリトン**
KENJI NOSE

名古屋市出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修了後、ドイツ・マンハイムにて研鑽。新国立劇場 オペラ研修所第9期生修了。ひろしまルネサンスオペラ『イル・カンピエッロ』（佐藤正浩指揮、栗岡 淳演出）『魔笛』（岩田達宗演出）ほか、沼尻竜典指揮トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ『ドン・ジョヴァンニ』の他「フィガロの結婚」「コジ・ファン・トゥッテ」「カルメン」「こうもり」「ラ・ボエム」等に出演。また、外山雄三指揮『第九』、鈴木雅明指揮『マタイ受難曲』、松尾葉子指揮すみだトリフォニージュニアオーケストラ『カルミナ・ブラーナ』、名フィル第409回定期演奏会、円光寺雅彦指揮ニールセン『交響曲3番』、ドイツ・ハレ大学 管弦楽団と『戴冠ミサ』、クロアチアの首都ザグレブにて日本との国交樹立20周年記念演奏会をはじめ、バッハのバスソロカンタータ56番、82番、ヘンデル「メサイア」、フォーレ、モーツァルト「レクイエム」等、宗教曲のソリストをつとめる。第147回日本演奏連盟推薦新人演奏会にて中日賞受賞。現在、金城学院大学文学部音楽芸術学科准教授、名古屋市立菊里高等学校音楽科非常勤講師。



鈴木 佳代子 **ピアノ**
KAYOKO SUZUKI

豊橋市に生まれ、向山小学校、中部中学校を経て愛知県立明和高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。同大学アンサンブル・ディプロマコース修了後、オーストリア・ウィーンにて研鑽を積む。ポーランド国立クラクフ管弦楽団との協奏曲共演、オランダ・ミュージックセッション・ガラコンサートほか、大学在学中よりソロ、ドイツ・リート、室内楽の演奏会にも多数出演。地元豊橋では、新日本フィル首席オーボエ奏者・古部賢一氏との共演、豊橋交響楽団とグリーグのピアノ協奏曲共演、「豊橋をHAPPYにしてくれる音楽家たち」、「マイネ・ブルーメ！」など多くの演奏会に出演。ピアノを杉浦日出夫、有賀和子、星野明子、藤井一興、ヴィクトル・トイフルマイヤー、レオニード・ブルンベルクの各氏に、ドイツ・リート解釈法を星野明子氏に、室内楽を岩崎淑、野平一郎、店村真積の各氏に師事。豊橋市に在住し、演奏活動に加え、自宅でピアノ指導にも力を注いでいる。愛知ピアノ研究会、豊橋音楽連盟会員。合唱団ハーモニーグリーン、TFM合唱団ピアニスト。